3　特別会計歳入歳出予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合において、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるなど、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、条例で設置するものです。本県では第14表の事業について特別会計を設けています。

本年度の特別会計の歳入歳出予算総額は、1,205億6,872万8千円で、前年度の1,261億603万4千円に比べ、55億3,730万6千円、4.4%の減となっています。

第14表　特別会計予算の状況　　　　（単位：千円、%）

会計名	平成23年度当初予算額(A)	平成22年度当初予算額(B)	比較	
			増減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
県債管理	102,360,176	105,957,080	△3,596,904	△3.4
交通災害共済事業	-	83,660	皆減	皆減
母子及び寡婦福祉資金貸付事業	313,493	310,717	2,776	0.9
小児心療センターあすなろ学園事業	1,075,011	1,049,096	25,915	2.5
就農施設等資金貸付事業等	686,300	369,048	317,252	86.0
地方卸売市場事業	158,664	194,663	△35,999	△18.5
林業改善資金貸付事業	759,710	735,248	24,462	3.3
沿岸漁業改善資金貸付事業	310,799	228,617	82,182	35.9
中小企業者等支援資金貸付事業等	1,366,001	1,401,231	△35,230	△2.5
港湾整備事業	234,964	104,601	130,363	124.6
流域下水道事業	13,281,839	15,631,583	△2,349,744	△15.0
公共用地先行取得事業	21,771	40,490	△18,719	△46.2
合計	120,568,728	126,106,034	△5,537,306	△4.4

（注）農業改良資金貸付事業等会計は、就農施設等資金貸付事業等会計に転換しました。

特別会計歳入歳出予算について、その概要を説明します。

（１）県債管理特別会計

この会計は、公債費に関する経理の明確化を図る観点から、一般会計に係る県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1,023億6,017万6千円を計上しました。

歳入については、既発債にかかる元利償還財源等として一般会計から繰り入れる繰入金1,023億2,481万円等を計上しました。

一方、歳出については、元金償還金821億5,669万7千円、利子償還金188億5,246万2千円等を計上しました。

（２）母子及び寡婦福祉資金貸付事業特別会計

この会計は、母子家庭や寡婦（配偶者のいない女性で一定の条件を満たす方）に対し、経済的自立を図るため、各種資金を貸付ける事業の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額3億1,349万3千円を計上しました。

歳入については、貸付金の元利収入1億7,146万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、貸付金として3億1,290万5千円を計上しており、その他は貸付けに伴う運営経費です。

（３）小児心療センターあすなろ学園事業特別会計

この会計は、精神障がい児、情緒障がい児及び発達障がい児の心身の健全な発達を図るために設置された三重県立小児心療センターあすなろ学園の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額10億7,501万1千円を計上しました。

歳入については、一般会計繰入金3億1,224万6千円、児童福祉法に基づく措置入園児童に係る措置費及び診療収入を1億1,002万9千円、それ以外の児童の入園、通園による入院及び外来収入等6億3,878万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、職員給与費等の人件費8億123万5千円、学園の運営経費として、2億6,965万3千円等を計上しました。

（４）就農施設等資金貸付事業等特別会計

この会計は、新たに農業を開始しようとする青年農業者等が必要とする施設等の導入に係る資金の貸付事業と、旧農業改良資金助成法等に基づき過去に貸し付けた農業の担い手が農業改良措置（新たな農業部門の開始、新たな生産方式の開始等）を実施するのに必要な資金の償還金等の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額 6 億 8,630 万円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入 1 億 1,167 万 1 千円、一般会計繰入金 4,041 万 6 千円等を計上しました。

一方、歳出については、就農施設等資金貸付事業費 1 億 8,891 万円等を計上しました。

（５）地方卸売市場事業特別会計

この会計は、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため開設し、平成21年度に中央卸売市場から地方卸売市場に転換するとともに、指定管理者制度を導入した三重

県地方卸売市場の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1億5,866万4千円を計上しました。

歳入については、県債4,400万円、一般会計繰入金9,165万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、市場施設維持管理費4,838万7千円、公債費8,819万2千円等を計上しました。

（6）林業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、林業・木材産業経営の改善、労働災害の防止並びに後継者の育成に要する必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額7億5,971万円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入3億4,647万2千円、県債7,688万1千円等を計上しました。

一方、歳出については、木材産業等高度化推進資金貸付事業費5億8万7千円、林業改善資金貸付事業費5,105万8千円等を計上しました。

（7）沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、沿岸漁業経営の改善および後継者の育成に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額3億1,079万9千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入1億1,757万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、沿岸漁業改善資金貸付事業費2億2,826万9千円等を計上しました。

（8）中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計

この会計は、小規模企業者等設備導入資金助成法等に基づき、中小企業者等の近代化、高度化を促進するため、事業の共同化、店舗の集団化および設備の近代化等に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額13億6,600万1千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入11億8,118万4千円、一般会計繰入金4,666万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、小規模企業者等設備資金貸付事業貸付事業費4億2,050万7千円、小規模企業者等設備貸与事業貸付事業費3,836万2千円、高度化事業資金貸付事業費1,372万7千円等を計上しました。

（9）港湾整備事業特別会計

この会計は、港湾埋立事業により取得した港湾施設及び施設用地の管理のほか、港湾整備事業に伴い借り入れた県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億3,496万4千円を計上しました。

歳入としては、港湾施設使用料6,006万1千円、財産売払収入1億6,252万2千円等を計上しました。

一方、歳出については、管理費1億4,894万8千円及び県債の元利償還金8,601万6千円を計上しました。

（１０）流域下水道事業特別会計

この会計は、流域下水道各処理区の管理のほか、流域下水道事業の建設費、県債の元利償還金等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額132億8,183万9千円を計上しました。

歳入については、流域下水道事業費地元負担金59億7,400万9千円、国庫負担金31億917万9千円、県債20億8,420万円、一般会計繰入金20億8,120万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、流域下水道建設費57億9,460万9千円、流域下水道管理費42億7,590万8千円、県債の元利償還金32億1,132万2千円を計上しました。

（１１）公共用地先行取得事業特別会計

この会計は、公共事業を行うため必要とする用地をあらかじめ取得する事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2,177万1千円を計上しました。

歳入については、利子収入2,053万7千円、財産貸付収入123万4千円を計上しました。

一方、歳出については、土地開発基金積立金2,177万1千円を計上しました。